



平成30年6月28日

原爆ドームの壁面破片レンガを製造元に寄贈します

～被爆樹木の苗木を寄贈し、植樹式を実施～

日時：7月6日（金） 14：30～15：30

場所：讃岐煉瓦株式会社琴弾回廊（ことびきかいろう）内事務局

：植樹式は琴弾回廊の屋外にて実施

広島県産業奨励館（現・原爆ドーム）の壁面レンガの破片を、下記のとおりレンガ製造元の讃岐煉瓦株式会社に寄贈しますのでご案内します。あわせて被爆樹木の苗木を寄贈し、同社敷地内にて植樹式を行います。

讃岐煉瓦株式会社への訪問は、平成25年と平成29年に続き3回目になります。

【1 レンガ寄贈】このたび寄贈する壁面破片の刻印レンガ（※1・2）は、原爆によって破壊され飛散した広島県産業奨励館のレンガです。平成29年2月3日に広島大学原爆瓦発送之会会長の嘉陽礼文が元安川から採取したものです。

採取した壁面破片レンガは、製造元である讃岐煉瓦株式会社へ寄贈します。寄贈後は、建設当時のレンガの製造方法等を学び、原爆ドームの歴史（広島県物産陳列館から広島県産業奨励館を経て原爆ドームへ変遷した歴史）を再考察することを目的に、同社施設内平和展示スペースにて常設展示される予定です。

当日は、30年前に同社でレンガ製造に従事されていた元工場長の方から、昔のレンガ製造についてお話を伺います。また、元安川から発見された刻印レンガについて、同社製のものか目視による確認作業も行います。

【2 被爆樹木苗木寄贈】被爆樹木の苗木（10本）を寄贈し、植樹式を行います。今回寄贈する被爆樹木は、現存している被爆樹木としては爆心地から最も近い（※3）370m地点（原爆ドームから約200m）で被爆したシダレヤナギです。原爆ドームの歴史にゆかりの深い樹木の苗木を、原爆ドームのレンガ製造元へ植樹することにより、製造元所在地の香川県からの平和発信を行います。平成29年12月に所有者によって採取された枝から発根したもののなかで、生育良好の苗を寄贈します。（※4）

記

日 時：7月6日（金）：14：30～15：00（レンガ寄贈式）
：15：00～15：30（植樹式）

場 所：香川県観音寺市有明町6-6
讃岐煉瓦株式会社 琴弾回廊（ことびきかいろう）内事務局
（植樹式は琴弾回廊の屋外にて実施）

出席者：嘉陽 礼文（広島大学原爆瓦発送之会 会長）
川崎 隆三郎（讃岐煉瓦株式会社 社長）
三好 則夫（讃岐煉瓦株式会社レンガ製造工場 元工場長）

<讃岐煉瓦株式会社への訪問経歴など>

- 平成 25 年 3 月に、元安川より採取した刻印レンガの製造元確認のため訪問
- 平成 29 年 6 月に、産業奨励館レンガを寄贈（刻印無しのもの）のため訪問
- 平成 30 年 6 月（今回）、産業奨励館レンガを寄贈（刻印ありのもの）のため訪問

平成 25 年 1 月と同年 9 月に、同会と本学の教職員が広島市の許可を得て原爆ドーム内のレンガ刻印調査を実施した際には、「松葉の菱」の刻印を 12 個発見しました。その刻印の画像を讃岐煉瓦株式会社へ送付したところ、自社製品に間違いのないとの回答を得た経緯があります。

平成 25 年の訪問後には、平和教育活動に役立てるため、同社資料倉庫に保管されていた明治時代の刻印レンガ 2 つと刻印コテ 1 つが、川崎隆三郎社長から嘉陽研究員へ寄贈されました。これは現在、本学医学資料館 1 階に常設展示されています。また、刻印コテは平成原爆焼の刻印としても使用しており、同刻印の記された平成原爆焼は、本年 3 月にケンブリッジ大学プレスミュージアムへ寄贈され、常設展示されています。

平成 29 年のレンガ寄贈後には、同社施設内に平和展示スペースが設置されてレンガの展示が行われており、地域の方々をはじめ多くの利用者へ平和発信をしています。

- (※1) 日干し煉瓦の製造過程の特徴から、レンガ本体への刻印は概ね 100~200 個に 1 個の割合で打刻されており、現在の原爆ドーム内に落下しているすべてのレンガに刻印があるわけではありません（ドーム内で確認された刻印レンガは 12 個）元安川で発見された刻印レンガは合計 3 個になります。
- (※2) 広島大学原爆瓦発送之会により発見された讃岐煉瓦株式会社の刻印はすべてレンガの胴面に打刻されており、長手面や小口面への刻印は、現在まで行われた原爆ドーム敷地内と元安川での調査では発見されていません。
- (※3) 広島市ホームページより（平成 30 年 3 月 1 日現在の被爆樹木リスト）
- (※4) 讃岐煉瓦株式会社への寄贈については、所有者の許可を頂いています。

【お問い合わせ先】

広島大学国際室国際部 国際交流グループ 担当 嘉陽礼文 TEL：090-1185-1620 FAX：082-424-4545

発信枚数：A4版 5枚（本票含む）

【寄贈物 1 刻印レンガ】



松葉の菱が刻印された被爆レンガ（洗浄後の写真）16 cm×12 cm×8 cm、約 2 kg、



刻印部分の拡大（泥が付着しているため確認できるのは菱形の半分のみ）

発見時の状態。ドーム前元安川（平成 30.2.3 撮影）

参考資料（ドーム内レンガの刻印写真）

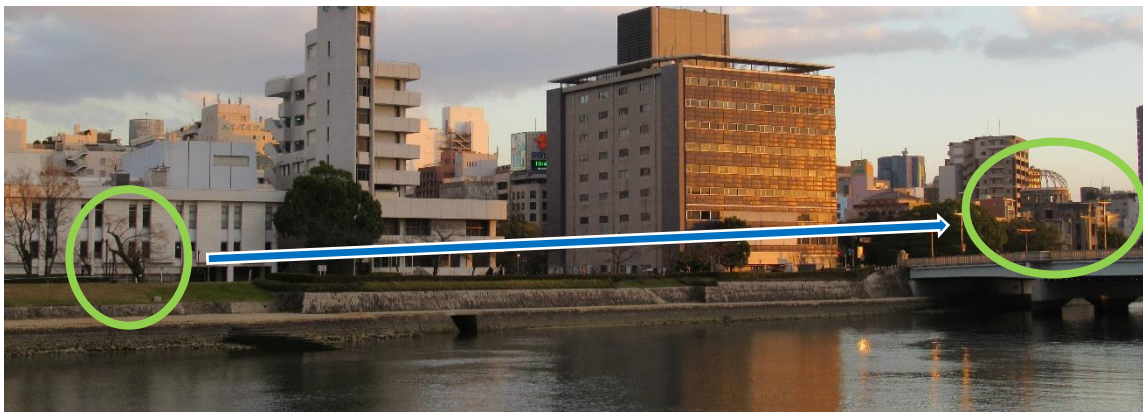


ドーム内レンガ（平成 25.9.24）ドーム内レンガ（平成 25.9.24）ドーム内レンガ（平成 25.1.23）

【寄贈物 2 被爆シダレヤナギの苗木】



シダレヤナギ苗木の一部（高さ 20 cm～80 cm） 水に漬けて5か月経過時の発根状態（5月）



（シダレヤナギからドームまで約 200 メートル）昭和 20 年当時はシダレヤナギから産業奨励館が視界に入っていたと思われる。相生橋西詰までの距離は 123m（ロードカウンターにて嘉陽計測）



シダレヤナギの外観（平成 29.12.3 撮影）



歩道と車道にせり出している枝を剪定
（所有者実施 平成 29.12.6 撮影）



剪定後に採取された枝

【撮影者 嘉陽礼文】

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部 広報グループ 行

原爆ドームの壁面破片レンガを製造元に寄贈します
- 被爆樹木の苗木を寄贈し、植樹式を実施 -

日 時： 7月6日（金） 14：30～15：30

場 所： 香川県観音寺市有明町 6-6

讃岐煉瓦株式会社 琴弾回廊（ことびきかいろう）内事務局
（植樹式は琴弾回廊の屋外にて実施）

ご出席

ご欠席

貴 社 名 _____

部 署 名 _____

ご 芳 名 _____（計 名）

電話番号 _____

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、7月5日（木）10：00まで
にご連絡願います。

